コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ（新設）

18．2．6　コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

（1）　コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえは表18．2．5により、種別は特記による。
特記がなければB種とする。ただし、7節［耐候性塗料塗り（DP）］の場合は、（2）による。

表18．2．5　コンクリート面、ALCパネル面の素地ごしらえ

工　程		種　別		塗　料　そ　の　他			面の処理
		A種	B種	規格番号	規格名称	種　類	
1	乾燥	○	○	—			素地を十分に乾燥させる
2	汚れ、付着物除去	○	○	—			素地を傷つけないように除去する
3	吸込み止め	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマルションシーラー	—	全面に塗り付ける
4	下地調整塗り	○	○	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1,C-2 CM-2又はE	全面に塗り付けて平滑にする
5	研磨紙刷り	○	○	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する
6	パテしごき	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C－1	
				JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	全面をしごき取り平滑にする
7	研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する

（注）1．コンクリート面の場合は、工程3を省略する。
2．合成樹脂エマルションパテは外部に用いない。
3．工程4の建築用下地調整塗材のC-1、C-2、CM-2又はEの使い分けは、15．6．5［下地調整］の（1）及び（4）による。
4．仕上材が壁紙の場合、工程3、工程4及び工程6に用いる塗料その他は、壁紙専用のものとする。

（参考）

15．6．5　下地調整

（1）　コンクリート面の下地調整は、次による。
（ア）　目違いは、サンダー掛け等により取り除く。
（イ）　下地面の清掃を行う。
（ウ）　下地調整塗材C－2を、1～2㎜程度全面に塗り付けて、平滑にする。
ただし、スラブ等の見上げ面、厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。
（エ）　下地の不陸調整厚さが1㎜以下の場合は、（ウ）の下地調整塗材C－2に代えて、下地調整塗材C－1を平滑に塗り付けることが出来る。
（オ）　下地の不陸調整厚さが3㎜を超えて10㎜以下の場合は、（ウ）の下地調整塗材C－2に代えて、下地調整塗材CM－2を平滑に塗り付けることが出来る。

（4）　ALCパネル面の下地調整は、次による。
（ア）　下地面の清掃を行う。
（イ）　合成樹脂エマルションシーラーを全面に塗り付ける。
ただし、下地調整塗材Eで代用する場合は、省略することができる。
（ウ）　屋外は、仕上塗材の製造所の仕様により下地調整塗材C－1又は下地調整塗材Eを全面に塗り付けて、平滑にする。ただし、外装薄塗材S仕上の場合は、下地調整塗材C－2を全面に塗り付けて、平滑にする。